

令和 2 年度 GIS 基礎技術研究会のご案内

本年度はお蔭様で研究会発足から 24 年目を迎えることになりました。これまで本研究会に積極的なご指導とご協力を賜りましたこと改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年度は講演会・実習を年 8 回開催して参りましたが、今年度はコロナウイルスの影響のため、8 月よりの開催とし、講演を 4 回、実習は例年同様 8 回のスケジュールで行う予定です。

(※年会費のみ半額とし、実習費に変更はございません。また、7 月末時点で開催の見通しが立たない場合は、本年度の講演はすべて中止とさせていただきます。事前にお申込み頂いた場合でも、会費等については、開催決定後の 8 月以降にしか請求致しません。)

詳細につきましては、第 1 回目の講演会開催時にご説明致しますが、概要は下記の通りです。ご協力の程お願い致します。また、GIS 基礎技術研究会の入会申し込み、実習の希望コースの申し込みにつきましてもよろしく申し上げます。

ー運営方法の要点ー

(1) 名称

名称は昨年度と同様 GIS 基礎技術研究会とします。

(2) 会員、会費等

① 会員は個人会員、特別会員（官庁関係等）、法人会員とします。会費は例年の半額とし、個人会員 5 千円、特別会員 1 万 5 千円、法人会員 3 万円とします。

② 特別会員（官庁関係者）については、1 口につき 3 名まで出席可能とします。

※法人会員についても同様 3 名までです。

③ 実習費は別途 1 名につき 2 万円とします。

④ GIS ソフトウェア 1 本の年間利用費は、基本料として年額 4 万円（九州大学学内利用者は年額 2 万円）とし、ソフトウェア 1 本を含みます。また、ソフトウェア本数を追加する場合は基本料に、追加する本数に 5 千円を乗じた価格になります（九州大学外利用者の場合：1 本追加（合計 2 本）は 4 万 5 千円）。なお、GIS ソフトウェアの年間利用を申し込む会員は、別途、本会代表と GIS ソフトウェア利用に関する契約を行う必要があります（ここでの年間とは、GIS 基礎技術研究会の開始月（6 月）から翌年 3 月 31 日までとします。翌年 4 月から 5 月の間も利用したい場合はご相談ください）。さらに研究会において、研究内容や実施例等を報告して頂きます。

⑤ NPO 法人環境システムフロンティアに入会ご希望の方は、申込書の入会希望欄にご記入下さい。

⑥ 本年度も引き続き、GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人環境システムフロンティアの技術啓蒙、普及事業として行います。

<会費のお振込先>

金融機関名：西日本シティ銀行 箱崎支店 口座番号：普通 1552701

口座名：特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

(3) 講演

年 4 講演の開催を予定しており、1~2 回は事例紹介とする予定です。時間については、12 月を除き、午前 10 時から 2 時間となります。12 月は、GISDAY in 九州 2020 とし、午後 1 時から 4 時間で開催する予定です。開催スケジュールにつきましては、年間スケジュール表をご参照ください。

(4) 実習

■内容：実習は下記の3つのコースに分かれて実施する予定です。

- ① ArcGIS 応用コース ArcGIS の基礎的な操作を習得している方を対象に様々な GIS 解析を実行するために使われるプロセスやツールを紹介します。また、参加者側が準備した自主的テーマまたは具体的な実問題に対して個別に技術相談、実習指導も行う予定です。ただし、ハード、ソフトは原則として自社負担とします。
- ② ArcGIS 初級コース GIS に触れたことのない方、または操作に自信のない方を対象に ArcGIS の基本的な操作方法を習得することを目的とします。
- ③ 個別テーマコース 業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。

■開催日

年8回(8テーマの実習)を実施する予定です。時間については、午後1時から4時までの3時間となっております。スケジュールにつきましては年間スケジュール表をご参照ください。

■場所：九大伊都キャンパス

<年間スケジュール表>

開催日	講演 ¹⁾		実習 ²⁾	
	午前	午後	午前	午後
8/22 (第3土)	●	—	—	●1
8/29 (第4土)	—	—	—	●2
9/19 (第3土)	●	—	—	●3
9/26 (第4土)	—	—	—	●4
10/17 (第3土)	●	—	—	●5
10/24 (第4土)	—	—	—	●6
11/21 (第3土)	●	—	—	●7
11/28 (第4土)	—	—	—	●8
12/12 (第2土) ³⁾	—	●	—	—

注1) 講演会場は総合学習プラザ大講義室(予定、決まり次第お知らせします。)

注2) 実習の各コースの実施会場は以下のとおりです。

応用コース・個別テーマコース：ウェスト2号館1106号室、初級コース：ウェスト3号館816号室

注3) 12月はGIS DAY in 九州として13:00~17:00の予定で開催します。

<ご来場について>

①お車でのご来場

入門ゲートにてメールで送付される「案内」を提示いただければ、無料にて入構できます。

②公共交通機関でのご来場

以下サイトをご参照ください。

■ GIS 基礎技術研究会 ホームページ

<https://asia.doc.kyushu-u.ac.jp/NP0/gis.html>

【問い合わせ・返送先】

GIS 基礎技術研究会事務局 E-mail: gis.kenkyukai@gmail.com (担当：緒方，谷口)

令和2年度 実習及び技術相談

実習は、年8回、伊都キャンパスにて実施します。なお、実習に必要なソフトウェアは無料で配布致します（ただし、九州大学内の使用に限ります）。また、無線 LAN によりネットワーク環境を構築する予定ですので、可能な限り、無線 LAN 搭載パソコンを持参していただきますようお願い致します。

(1) ArcGIS 応用コース

本コースは、ArcGIS の基礎的な操作を習得している方を対象にしています。このコースでは、ArcGIS で使用する解析機能を紹介し、様々な空間解析、画像解析を実行するために使われるプロセスやツールを実習します。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

8月	第1回	ジオデータベース 1. ジオデータベースの作成 2. サブタイプ・ドメイン
	第2回	トポロジ 1. トポロジの作成 2. トポロジの編集
9月	第3回	ジオプロセッシングと解析ツールボックス 1. ジオプロセッシングツール 2. 解析ツールボックス
	第4回	ラスタ解析 1. ラスタデータとは 2. ラスタレイヤの作成
10月	第5回	画像解析 1. リモートセンシングとは 2. 画像解析 3. 画像分類
	第6回	ネットワーク解析 1. Network Analyst の基本 2. ルート解析, 到達圏解析等の様々な解析
11月	第7回	水理解析 1. 集水システムの概要 2. 水理解析による集水域等の作成
	第8回	ModelBuilder と ArcGIS Pro の基本操作 1. ModelBuilder とは 2. モデルの作成とモデルツールとしての利用 3. ArcGIS Pro の基本操作

<講師> 田淵, 池崎, 菅原

(2) ArcGIS 初級コース

本コースは、GIS に触れたことがない方、または操作に自信のない方を対象として ArcGIS の基本的な操作方法を習得し、深めてもらうことを目的としています。このコースで学ぶ操作は、これから GIS を利用していく上で最も基本となる部分です。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

8 月	第 1 回	GIS とは ArcGIS の概要 ArcMap の基本操作 (1) 1. インターフェイスの名称と役割 2. データの表示「凡例,ラベル, 表示縮尺, レイヤファイルの保存」
	第 2 回	ArcMap の基本操作 (2) 3. フィーチャの検索・選択 4. 地理参照データの使用 5. レイアウトの作成と出力
9 月	第 3 回	空間データの利用 1. ArcCatalog の基本操作 2. テーブル結合とリレート 3. グラフとレポートの作成
	第 4 回	GIS データの作成・編集
10 月	第 5 回	基盤地図・画像データの利用, 空間分析 1. 基盤地図の利用法 2. ジオリファレンス 3. ジオプロセッシングウィザード
	第 6 回	空間分析 (Spatial Analyst)
11 月	第 7 回	3D Analyst
	第 8 回	総合演習

<講師> 舟津, 山口, 村岡

(3) 個別テーマコース

業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。

<講師> 三谷, 谷口

以上

NPO 法人環境システムフロンティアのご案内

NPO 法人環境システムフロンティアは、開発と環境の調和をめざす望ましい社会基盤を構築し、維持していくための情報技術、建設技術、環境技術などの研究開発、応用、普及などの活動を行い、その活動を通じて行政やその他の団体と市民・地域との連携を支援し、社会教育、まちづくり、環境保全、防災、国際協力の推進に寄与する活動を行っております。

令和元年度は次の活動を行いました。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ まちづくりの推進を図る活動：東峰村災害復興支援業務
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業（糸島市，大野城市）
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業（熊本県人吉市，佐賀県多久市・唐津市，福岡県糸島市・東峰村）

令和2年度は次の活動を予定しております。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業

本 NPO の会員の方々には、上記の活動に参加いただくことが可能となります。この他にも本 NPO では、環境の保全を図る活動、災害救援活動、国際協力の活動も可能となっており、本 NPO に入会頂くことで本 NPO の一員としてこれらの活動が可能となります。ぜひ入会をご検討頂けましたら幸いです。

以上